

事業名	富士山学習等推進費			調査番号	12
細事業名	環境教室開催費	財務コード	433201		
担当部課室	県民生活 部 私学・科学振興 課 科学技術 担当 (内線)				

事業の概要

実施期間	始期 H9 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	学校や各種団体を中心とした一般県民	環境教室への参加を通じて、環境問題を地球規模で考え、身の回りのことから実践していくことの大切さを学習・理解している
結果、何に結びつけるのか	環境に配慮した日常生活の実践	
内容	環境問題を地球規模で考え、身の回りのことから実践していくことの大切さを伝えるため、研究所を訪れる学校や各種団体を対象として環境教育事業を実施する。	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	環境教室実施回数	目標	215	215	240	230	250	230
		実績(見込)	205	233	228	244	227	230
		達成率	95.3	108.4	95.0	106.1	90.8	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	環境教室参加者数	目標	12,000	12,000	13,500	12,000	13,500	12,000
		実績(見込)	11,961	13,079	11,486	13,070	11,712	12,000
		達成率	99.7	109.0	85.1	108.9	86.8	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		310	258	222	255	234	187	171

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	参加者の関心の高い講座内容への見直しや広報活動の改善等により、参加者数が毎年定員(目標)の8割以上を確保できており、概ね意図した成果を上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	一般参加者及び学校等各種団体のニーズを踏まえてプログラム内容を充実させ、教育スタッフやボランティアの知見をさらに磨くことで、成果向上は可能である。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明	参加者の期待に沿った環境教室の実施のために、教育スタッフの研修やボランティアガイドの知見の向上を図り、プログラム内容の充実・更新等を行う。		
見直しの必要性	有	環境教室で実施している自然体験活動のさらなる充実とともに、各研究部の成果をフィードバックさせた最新の環境教室プログラムの整備が必要。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	参加者の期待に沿った環境教室の実施のために、プログラム内容の充実・更新等を随時行う。また、プログラム実施において、スタッフやボランティアガイドの知識や技術向上の取組を行う。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。